



ロータリーは 分かちあいの心

2007～2008年度
国際ロータリーのテーマ
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

会長／関野政人 幹事／山本讓二

DISTRICT 2510 JAPAN

留萌ロータリークラブ 会報

2007▶2008 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

みんなロータリーが好きだから
出会いを創造し活性化しよう

プログラム

●本日 「論山訪問の報告」 国際奉仕委員長 森 幹雄 君	会員誕生日 4月4日 角 隆巨	結婚記念日 4月1日 笠原 正昭
●次週予定 「地区協議会報告」 会長エレクト・次年度役員・理事	ご夫人誕生日 4月5日 大沼ひさえ 4月6日 澤田 清子 4月6日 関野 暁美	

No. 2321

第36回 4月2日

出
委
員
報
告
席
会
告

前
例
会

会員総数	48名
出免会員	3名
欠席会員	17名
出席率	62.22%

前
々
会

第33回	3月12日
欠席会員	14名
メイクアップ	5名
修正出席率	69.57%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

- 澤井元会長の葬儀が昨日行なわれました。会員皆様のご参列ありがとうございました。澤井会員は昭和39年1月富良野ロータリークラブ入会后留萌に移転され、昭和48年4月に留萌ロータリークラブに入会されました。クラブ第23代会長として44年間奉仕活動に多大の貢献を頂きました。ご冥福をお祈りいたします。
- 3月22日韓国論山市において開催の「韓国論山クラブ創立40周年・姉妹クラブ血縁35周年記念式典」に7名の会員にて参加して参りました。皆様大変お元気で懇親を深めてまいりました。

📁 幹事報告

- 1) 韓国論山RC訪問無事終了しました。

会報受領先

・羽幌RC No.1391号～No.1394号

ゲスト

留萌警察署 交通課長 伊藤 隆裕様

👤 委員会報告

次年度理事会

齋藤会長エレクト

3月19日午後6時30分よりいちばんかんにて第2回被選理事会・第1回クラブ協議会を開催致しました。次の協議事項4点について審議をいたしました。

1. 2008～09年度委員会構成について
2. 委員会活動について
3. スケジュールについて
4. 収支予算案について

その中で、委員会構成の変更について会員の皆様にお知らせいたします。

例会運営委員会委員に松田宏幸会員(兼)、クラブ会報委員長に渡邊裕久会員、副委員長に奥俊信会員、委員に松川一夫会員、職業奉仕委員会委員に関野政人会員(兼)、会計補佐に宮井会員の後任としてまだ入会しておりませんが、松崎さんを承認いたしました。

国際奉仕委員会

森(幹)委員長

会長報告でもありましたが、3月21日～23日の日程で韓国論山ロータリークラブ創立40周年記念式典・姉妹クラブ血縁35周年の記念式典に7名の会員で参加して参りました。論山クラブ訪問については次週の例会プログラムになっておりますので、詳しくは申しませんが、全員無事何事も無く帰ってまいりました事を報告いたします。

3分間情報

会員研修委員会

河部副委員長

ロータリーとインターネット -その5-

決議案 07-183 ロータリアンがR Iウェブサイトを通じて会員情報を制限付きで見ることができるようになることを検討するよう、R I理事会に要請する件

R Iウェブサイトの「会員アクセスページ」には個人のロータリー財団寄付記録やEメールの情報が記載されています。たとえ読み取り専用と言えども、個人情報を他人が閲覧することに問題があります。

制定案 07-185 クラブと地区のウェブサイト、ロータリー・ワールドワイド・ウェブへのリンクを義務付ける件

クラブや地区のウェブサイトからロータリー・ワールドワイド・ウェブへのリンクを設ける

ことは賛成ですが、現時点ではロータリー・ワールドワイド・ウェブは大部分が英語による情報提供であって、僅かに設けられている言語別ウェブサイトの内容もR I公式文献のみで、利用価値は限られています。

全てのロータリアンは同額の人頭分担金を支払っているのに、平等な情報提供を受ける権利があるにもかかわらず、現状では英語以外の情報提供は極めて少ないのが現実です。言語別ロータリー・ワールドワイド・ウェブの内容を充実することを優先すべきです。

R Iの他国語への翻訳作業には限界があるとすれば、2000年に認可した言語別ウェブ・コミュニティ制度(日本ではR J W)を復活して、各国の言語を尊重したウェブサイトの再構築を促して、それぞれの国の組織を活用してロータリー情報の共有を積極的に進めるべきだと考えます。

(「ロータリー探求」から)



ニコニコBOX

- ・論山に行ってきました 無事何事も無く帰国出来ました 関野会長
- ・論山ロータリークラブを訪問して大変歓迎されてきました 田中会員
- ・論山R C訪問時に参加会員、論山クラブ会員にも大変ご迷惑をお掛け致しました 又ロータリーの厚い友情に深く感謝いたします 澤田会員
- ・論山の写真いただきました ありがとうございます 武井会員
- ・論山訪問ご苦勞様でした 渡部会員

前 回	786,000円
今 回	64,000円
累 計	850,000円

📅 プログラム・・・・・・・・・・

「春の交通安全週間にちなんで」

留萌警察署 交通課長 伊藤 隆裕 様

日頃、警察行政にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。私は交通は殆ど携わった事がなく、交通機動隊で覆面パトカーなどに2年間乗ったくらいですので、留萌にきてから初めて携わりましたので、あまり詳しい話は出来ませんがお付き合いをお願いします。

4月6日から15日までの10日間が、春の全国交通安全運動となっており、交通事故の現状をお話しすると、平成19年道内の交通事故は平成18年に比べ、3,385件減少の23,582件でした。逆に死者数は9名多い286名で、負傷者数では4,492名少ない29,204名でした。留萌管内での発生件数は6件少ない86件で、死者数は4名少ない2名、負傷者も29名少ない102名でした。また今年平成20年に入り、道内の交通事故発生件数は78件増えて5,586件ですが、死者数が21名少ない29名です。しかし負傷者は98名多くて6,993名となっております。留萌でも残念な事に先日、留萌市浜中町で62歳の男性の軽トラと列車が踏み切りにて衝突事故があり、男性が1時間後に外傷性ショック死で死亡いたしました。場所は遮断機のない踏み切りで、砂利道のあまり車の通らない場所でした。一時停止しないで踏み切りに侵入しての衝突事故で、あと数秒早いか遅ければ事故に合わなかった残念な事故でした。少しでも気を付けていればと悔まれます。平成19年の死亡事故2件は、6月7日にゆったりかんの所の町道から出るところでハンドル操作を誤ったのかスピードの出し過ぎによる路外転落の単独事故と、11月17日に231号線で、開発職員の車と大型トレーラーの正面衝突事故でした。これはかなりスピードが出ていたようで、車はペシャンコの状態でした。

ちなみに、死亡事故の統計では事故後24時間以内に死亡した事故だけがカウントされ、極端な話25時間後に死亡したものは入りません。去年幌糠で80歳歳の女性と軽四トラックの接触事故があり、車は無傷なのですが女性が軽く押さ



れたような状態で、女性が転倒して頭を強打し1ヶ月後に死亡した事故もございました。最近では歩行者と車の事故が多く、会社の1階の駐車場から車道へ出ようとして左右を確認後、バックで移動中に歩行者を車の下に巻き込んでしまい、周りの人に言われて車を停めたが、肋骨がすべて骨折しており、留萌市立病院ではどうしようもないと旭川の病院へ運んだ事故もありました。また先日十字街の交差点で歩行者とトラックの接触事故があり、何ヶ月の入院になるような事故もございました。このように事故は減ってはいますが、まだまだ身近に事故は多くありますので、皆様十分注意して頂きたいと思えます。

道内における事故の類型別では、減少したのは正面衝突や追突で、増加したのは人対車輛や自転車対車輛が増加しています。また道路別では国道での事故は減少していますが道道や市道での事故が増加しています。スリップ事故などは減少していますが、事故当事者として若年者の事故が31%も増えています。

お話しの最初にも言いましたが4月6日より春の交通安全運動がはじまりますが、交通安全運動は6期60日ありまして、期別運動で4期つまり春、夏、秋、冬の交通安全運動で、夏の交通安全運動が7月22日から7月31日、秋の全国交通安全運動が9月21日から9月30日、冬の交通安全運動は11月12日から11月21日までとなっております。また地域・職域運動で2期ありまして、初夏の行楽期の交通安全運動の5月30日から6月8日までの間、そして秋の輸送繁忙期の交通安全運動の10月17日から10月26日までの

10日間となっております。

春の交通安全運動の重点では、子供と高齢者の交通事故防止。飲酒運転の根絶。後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底。速度上昇に伴うスピードの出し過ぎ防止。自転車の安全利用の推進です。留萌市では子供の事故はございません。ただし、私も経験いたしました。交差点での子供の自転車の一時停止をしないでの横断がございます。通いなれた道でも交差点等は十分に気を付けていただきたいと思えます。

飲酒運転は道交法が平成13年と昨年とで改正され、大変厳しくなりました。飲酒運転では100万円以下の罰金、酒気帯びでは50万円以下の罰金です。また酒類提供罪や車輻提供罪また飲酒同乗罪という罰則も出来ました。十分注意して下さい。刑法では業務上過失致死というものが自動車運転過失致死罪となり罰金も50万円から100万円以下の罰金となりました。道路交通法では普通自転車では歩道通行ルールの変更もありました。留萌では自転車が歩道を通行しても良い所は、マルビシ石油からホームマックの

所までと、北光中学校から三泊小学校まで、それと231線では2車線の所から増毛のスタンドの所までです。歩道を通行出来る自転車は13歳未満の子供だけです。また13歳未満の子供の自転車乗車時のヘルメット着用、保護者の努力義務としています。シートベルトでは後部座席も着用が義務付けられました。これは6月19日施行で、高速道路だけキップが切られます。それと75歳以上のドライバーの高齢者運転者マークの表示を義務づけられました。70歳以上でつけても良いが、75歳以上は必ずつけなければなりません。

最後に、皆さん健康管理には十分気を付けて下さい。体調が悪いと判断力も落ちます。判断力が落ちると操作スピードも鈍ります。体調の悪い時は運転も控えて頂きたいと思えます。十分に気を付けて運転してください。被害者も加害者も苦しむのが交通事故です。慎重な運転をお願いします。本日はありがとうございました。

— 悼 —

澤井定七会員の御霊に謹んで哀悼の意を捧げます

今日、突然として最も悲しむべき知らせを頂き啞然とし、信じることが出来ませんでした。クラブ創立50周年を間近に控え、澤井さんの知恵とお力をお借りしたい矢先であり、大きな道標的存在であっただけに悲しみは増すばかりで、誠に残念でなりません。

ここでご霊前に澤井さんが心を尽くしてこられたロータリー活動を回想して感謝の思いを捧げたく思えます。

昭和48年留萌クラブに入会、35年間の在籍、そしてロータリー歴46年の実績は模範的な存在で真のロータリアンであります。入会以来、数多くの理事役員・委員長を歴任されました。さらに、1983～84年 第23代留萌クラブ会長を務めて頂き「ロータリーを知ろう そして広めよう」を会長テーマに100名の会員の先頭に立って活躍されました。特に職業奉仕についての理念、ロータリーの奉仕の哲学は、私達会員の道標でした。常に、奉仕の理想と友愛を念頭に行動され、留萌クラブ発展のために、多大な貢献をなされ、今日の当クラブを築いてくださいました。心から感謝申し上げます。

クラブ在籍の長い会員として、若い会員にも分け隔てなく親しく接していただきましたし、的確な助言を与えて頂きました。

今や幽冥境を異にし、もはや心優しく人間愛に満ちたそのご尊顔を拝する術もございません。

今後は、崇高な教えを遵守し、より一層のクラブ発展に努めてまいりますので、どうぞ天上よりご教導、お見守り賜りますようお願い致します。

ここに、亡き澤井定七会員の面影を偲びつつ、心からご冥福をお祈り申し上げます。 合 掌

留萌ロータリークラブ会長 関野政人